

## 平成25年度センター機関推進プロジェクト実施報告書

申請者：平勢 隆郎

報告内容：東文研蔵貴重物品の整理とデジタル化

- ① プロジェクト全体計画（概要・目的・意義など）：わが研究所には、貴重な美術考古資料が所蔵されている。これらは、機会を得てよりよい保存状況下におくことが求められている。しかし、一方において、物品の劣化の問題が急浮上してきており、それらから他の物品を守る必要も生じている。そこで、目につくところから、保存のための処置を講ずべく、本計画を申請することにした。
- ② 今年度の実施内容：<1>キャビネットの購入：昨年度に引き続き、ガラス乾板や焼付け写真アルバムを保管しやすいように再配置した。<2>フィルムホルダーの購入：シートフィルムのうち、すでに劣化により臭いを生じるにいたったものがある。これに対処した。<3>中性紙の購入：整理箱内の焼付け写真や写真アルバムの焼付け写真を保護するもの。
- ③ 公開済みの（または予定の）具体的な成果物：別に進められたプロジェクトにおいて、上記の整理物品を用いて、本年度センター叢刊『東方文化学院旧蔵建築写真目録』（平勢隆郎・塩沢裕仁・関紀子・野久保雅嗣）を刊行した。